

ほっかい新報

2007年 10月3日発行

10月14日 (第1716号)

発行所
ほっかい新報社
060-0806 札幌市北区北6条西7丁目
電話 011(726)4858
北洋銀行(普)0576770
Eメール:hokkaijinpo@hotmail.co.jp

定価	1部80円
月ぎめ	230円(〒120円)
年ぎめ	2,760円(〒1,440円)

規模の大小と価格でふるいにかける

品目横断対策の問題点と運動の前進



北海道農民連事務局長 野呂 光夫

す。そして、規模の大小のふるいに続き、今度はこんな低い価格でも耐えられるか」というような価格引き下げのふるいをかけているのです。

この夏に生産された小麦は「生産条件格差是正対策」として、過去の生産実績と生産量・品質に基づく交付金を支払う仕組みになっています。

北海道の品目横断対策への加入は、小麦の場合ほとんど作付面積の99%に入っています。昨年までの収入に比べ、二割前後の減収が避けられない状況となっています。そのため、大豆は、同じく三千円

の生産者の手取り価格は一俵(六十キロ)、一千二百円という、エサ用に輸入された小麦価格一千八百円よりも安いもので、これでは、品目横断対策から除外された農家はもろろん、加入している農家でも、とても採算が合うものではありません。

大豆は、同じく三千円の

智子参議院と一緒に農水省交渉を行いました。その中で「可能な限り見直しや改善を図りたい」という回答が返され、当初「過去の実績に基づく支払」は十二月に交付するとしていましたが、負債償還に間に合うよう、十月から交付するということになりました。

導入初年度から、このような変更をせざるを得ない欠陥対策であるとともに、生産現場からの運動が前進を切り開いたと言えるもので、さらに取り組みを強め抜本的な見直しをさせていかなければなりません。

道が4日発表した「自治体病院等広域化・連携構想素案」について、共産党道委員会の佐々木忠自治体部長は次の談話を発表しました。

道が4日発表した「自治体病院等広域化・連携構想素案」について、共産党道委員会の佐々木忠自治体部長は次の談話を発表しました。

命の値段は企業が決める。「どちらの指を選びますか」お金がない人を路上に捨てる？

衝撃のシーンが続く。マイケルムーン監督の「シッコ」(病氣なやつ)は、こんな社会でいいのかと問いつける▼映画の圧力とアリスムをアシーンと訴える力のあるもの。若い人にも、先輩の人にもみてもらいたい▼治療を受けられない、病院に行けないのはアメリカのこと。イヤ、日本で、北海道でひらがっている。道は「自治体病院等広域化・連携構想」案を出した。道内にある白老、黒松内など三十八の町立病院を診療所化する。小樽、赤平、美瑛ら九市立病院を縮小する。公立病院統廃合計画である▼道が診療所化すべきとしたのは、松前、奥尻、厚岸、熊石、由仁、黒松内、京極、幌加内、豊浦、白老、平取、新冠、静内、三石、上川、和寒、上富、中富、遠別、天塩、幌延、豊富、猿払、興部、雄武、十岬、鹿追、大樹、広尾、池田、本別、足寄、阿寒、標茶、標津、羅臼▼地域から高校、農協、郵便局、役場が消えれば、生活条件の基礎が崩壊しかねない。道はあくまでたたき台というが、地域崩壊の瀬戸際である▼道は医師の不足、経営の困難、患者の縮小をあげが、前者二つは政治の貧困がおこしたもので、イギリスでもカナダでも医療を受ける権利は保障されている。いま生存権が問われている。

食料自給率が数字の上でもついに40%を割り込みました。政府は「食糧・農業・農村基本法」に基づく基本計画で食料自給率45%の目標を掲げています。しかし、計画策定の時点から自給率は下がり続け、ついに39%というゆゆしき事態にまで追い込まれました。

今後、EPA(経済連携)協定を拡大し、品目横断的経営安定対策が続けられるならば、農水省が、関税撤

今年度から導入された品目横断対策は、当初予想していた以上の深刻な影響を農家経営に与えるものとなっています。

畑作農業の基幹作物であり、対象作物の一つである麦についてみると、きたり農協が示した品目横断対策にかかわる生産額と従来との比較(平均値であり個人差はあります)でも約15%程度の減収が見込まれています。さらにこ

これは品目横断対策移行産小麦の販売代金で生産者が受け取る金額が、この対策では品代として一俵六十kgで二千四百六十五円とされているところですが、実際は家畜のエサ用輸入小麦よりも安い、千六百五十円程となったことです。

これは品目横断対策移行産小麦の販売代金で生産者が受け取る金額が、この対策では品代として一俵六十kgで二千四百六十五円とされているところですが、実際は家畜のエサ用輸入小麦よりも安い、千六百五十円程となったことです。

道は、道内94か所ある自治体病院のうち38病院について、診療所化する再編計画案を、「自治体病院等広域化・連携構想(案)」として、4日の道議会保健福祉協議会委員会で明らかにしました。

この中には、9月定例会で健康サービス向上のため増設改築の補正予算を可決した広尾町立診療所も含まれています。道は、診療所化は、地域から病院が消えていくことになり、地域の生活条件の基礎が崩壊されていくことになる重大事です。

道は、道内94か所ある自治体病院のうち38病院について、診療所化する再編計画案を、「自治体病院等広域化・連携構想(案)」として、4日の道議会保健福祉協議会委員会で明らかにしました。

赤旗へ日曜版

定価800円(税込) 1部100円

日本共産党中央委員会発行

エサ用輸入小麦より安い生産者価格

品目横断対策導入による影響

工藤 弘喜 調子府町議会議員

ここきて今年産小麦の販売代金で生産者が受け取る金額が、この対策では品代として一俵六十kgで二千四百六十五円とされているところですが、実際は家畜のエサ用輸入小麦よりも安い、千六百五十円程となったことです。

これは品目横断対策移行産小麦の販売代金で生産者が受け取る金額が、この対策では品代として一俵六十kgで二千四百六十五円とされているところですが、実際は家畜のエサ用輸入小麦よりも安い、千六百五十円程となったことです。

子府町では合わせて一俵二千円程度になるが、払っていきけるのか、「この対策が出てきて麦の作付けが大幅に減少し、代わって野菜(玉葱)にシフトしてきたが供給過剰になって問題がでてこないか」、「燃料や生産資材価格が値上がりしているなかでこれ以上のコスト削減はどうすればいいのか教えて欲しい」、「麦を作っても労賃どころか経費も賄えないようじゃ何の社が行っている農地保有合理化事業にも影響

道医連合では保険料を明示していませんが、均等割は56%(年間四万八千八百円)、所得割は44%で、所得は約9%と割高です。

道医連合では保険料を明示していませんが、均等割は56%(年間四万八千八百円)、所得は約9%と割高です。

地域はどう生き抜くか!!

とき 11月15日(木)18時30分〜20時30分

ところ 自治労会館中ホール(北6西7)

京大総教授・自治体問題研究所理事長 岡田 知 弘

資料代五〇〇円/道州制と自治を考える会・消費税廃止各界連絡会

011-717-3800

収入減 離農促進の「品目横断」は抜本的見直し・中止を

日本共産党



水稲調査する紙智子参議院議員と宮内さとし所長

党国会議員農業調査に同行して

党国会議員北海道事務所 千田 悟

紙智子参議院議員と党国会議員北海道事務所は九月、政府が進める品目横断的経営安定対策の影響などで、直接、生産者や農協関係者から話をきく農業調査を実施しました。現場での受け止めなどについて同行した千田悟・国会議員北海道事務所員に聞きました。

品目横断対策の影響について聞かせてください

また未知地域に限った農業調査ですが、深刻な矛盾がでてきます。「担い手を育てる」という名目とは逆さまに、新たな対策のもとで、大幅な農家手取りの減少が避けられないことが、生産者のやる気を失わせ離農の促進剤となつていま

小麦は、品代の下落げではなく、農水省自身が「従来と同水準」(平年作)と説明してきた交付金すらも目減りする事態に生産者の怒りも心頭です。「交付金は『過去の実績』による支払いのため、作付

品目横断対策は、とにかく一度立ち止まって検証してほしい、というのが共通した思いではないでしょうか。

収入減は、どうしておこったのですか

麦では、平成十七年産から国内産の全量が民間流通となったことに続き、「担い手」のみを支援する品目横断対策と矛盾するとの理由で、今年度からは政府無制限買入制度も廃止されました。生産者価格の下落は、こうした価格安定対策を廃止して、市場任せにした結果起つてい

り、負担は増える。これが品目横断の実態です。岩見沢市でつくられたホクシン(麦)の品代は、一俵千六百二十円で、エサ用に輸入されている小麦価格は千八百円(六十キロ換算)より低い価格に落ち込んでいます。また、「交付金の支給を早くしてほしい」「交



割を補てんする「収入減少緩和対策交付金」があるものの、「ベース」が下がれば、元の価格に戻らない。このままでは自分で自分の首をしめることになる(北農中央会)と心配しています。

価格を落とす所まで落として、作付けを抑制させようというやり方は、日本の稲作はなくなってしまう。

ほかにどんな意見が寄せられましたか?

品目横断にかかわっては、麦の等級格差の拡大、農地・水・環境保全対策など多岐にわたる問題が出されたほか、どこへ行っても企業の農地取得、農協の規制緩和、農政全般などが話題となりました。

日経連は、株式会社等の法人による農地の取得・保有を認めるよう、強く政府に迫っています。滝川農協では「今の仕組みでも株式会社形態の農業生産法人が認められるなど、企業が農業に参入できるのに、なぜ農地の所有を認める方向なのか。外の目的があるのではないか」「産廃などを持ち込まれるのではないか」「儲けがなくなれば農地を放棄するのではないか」と危惧していました。

農協改革についても「合理的にやっている部分に(改革の)必要があるのか」と首をかしげる農協関係者もいました。

厚労省と農水省がBSBを頭検査への助成の終了を決め、地方自治体が独自に検査することまで通達でやめると庄力をかけていた問題は、紙議員の政府申し入れ(九月二十八日)に、副大臣が地方自治体への通達



ていますが、その交付金に付金支給までの間、農協に立て替えてもらうことができず、「過去の生産実績に基づく支払い」と「その年の生産量・品質に基づく支払い」が七対三の割合のため、新たな生産者負担は避けられません。収入は減

米価下落の元には、コメ価格の市場任せに加えて、政府自身が備蓄策購入に際して買い叩きの先頭に立ち、かつては加工用を振り向けていた古米や古古米を超安値で放出するとい

ことから、今後、その政策効果をしっかりと検証し、必要に応じて適切な見直しを検討してまいりたい」と言わざるをえなかった。農家を規模で選別する品目横断対策を改め、意欲のある農家すべてを大事にする農政をめざして、引き続き全力を尽くします。

道社保協事務局長/清水雅人・広域連合議員
主催：同実行委0126-2213975(西岡)

札幌郷土を掘る
会講演会
11月4日(日)札幌エルプラザ「軍隊保持の憲法9条になつたら」吉田裕・一橋大学大学院教授
◎参加費千円

合同教育研究会
道集會
9日(金)11日(日)かどる2・7、北大人文学棟
問い合わせ011-231-0816

9条を考える秋
の学習会
10日(土)18時30分〜クリスチヤンセンター(北7西6)
「タマゴマン平和について考える」坂本勤(タマゴマン)

怒りと集まれ
10.26札幌集會
「ストップテロ特措法」米軍再編、脱「構造改革」
26日(金)18時20分〜大通り6丁目/主催：国民大運動実行委員会011-815-8181

後期高齢者医療制度を考えるシンポジウム
28日(日)14時〜岩見沢市まなみる文化センター音楽室(9条西4)
講師：田口正巳・立正大学福祉学部教授